

対象年度	令和 4年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート		
事務事業名	第4次拡張事業							予算事業名	—	
予 算 科 目	会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	水道法	
			XX	XX	XX	XXXX	経常経費			
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業	
	地球環境にやさしいまちづくり									
	安全・安心な水道水の安定供給							担当課係等	水道課 工務係	
事業期間	継続 (昭和60年度～ 年度)									
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
全市給水为目标に配水管布設工事（拡張）を進めることにより、公衆衛生の向上、福祉の増進と産業の振興を図り、健康で文化的な都市づくりを目指す。							・公衆衛生の向上（地下水の汚染）、地盤沈下の抑制、文化的生活の向上を図る必要がある。 ・水需要の増により水源・施設の拡張を起こさう。また、県水及び地下水の採取による全市安定供給を目指す。			
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】			
全市給水为目标に区画整理事業地内や、未整備地区への配水管の拡張を行う。							・市内全戸 ・水道管			
							【事業をとりまく環境の変化】			
							・公衆衛生の向上（地下水の汚染）、地盤沈下の抑制、文化的生活の向上を図る必要がある。 ・水需要の増により水源・施設の拡張を行う。また、県水及び地下水の取水による全市安定供給を目指す。			
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】		
区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張				区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張				区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張		

■事業費

		R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	33,000	39,000			
	その他	2,999	2,644			
	一般財源	0	0			
歳入計（千円）		35,999	41,644			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	12 委託料	744	377			
	14 工事請負費	35,255	41,267			
歳出計（千円）（A）		35,999	41,644			
伸び率（％）			15.68			
備考	予算書 397～398ページ					
	第6次結城市総合計画 78ページ					

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	配水管布設	km	目標	1.00	3.00	3.00
			実績	0.92	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	水道普及率	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	98.60	98.60	98.60
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	公衆衛生の向上（地下水汚染）、文化的生活の向上を踏まえた事業は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	法的にも行政が行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	区画整理事業地内等の住宅密集地では水道使用料による整備コストの回収効率は良いが、郊外（特に不採算地区）では非常に悪い。
公平性	受益者の偏り	C 偏りがある	老朽化した施設更新や、企業債償還を行うために内部留保した資金を本事業に充てている面があり、水道利用者間、世代間の公平性に偏りがある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	概ね全市給水化は図られているが、非住宅地への普及は遅れている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	ある程度進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
配水管の拡張事業は、区画整理事業地内及び非住宅未収地域への整備が主であるが、地域によっては投資効果が表れない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
第4次拡張事業（特に区画整理事業地内）を早期に集結し、配水管（石綿管）更新事業を増したい。 北西部区画整理事業地内の第4次拡張事業について、水道利用者間及び世代間の公平性を保つため、設計業務委託・工事実施の負担金の再開を協議する。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 施工にあたって、採算性など費用対効果を検討し、区画整理事業の進捗並びに地域の実情を考慮して引き続き事業の推進を図っていく。 工事負担金については、関係各課との協議を進める。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	